

令和元(平成31)年度 事務事業評価シート(平成30年度実績)

市民部  
 くらしの窓口課  
 管理係

事務事業名	千代川庁舎管理費								
総合計画の体系	目標	6	市民協働、行財政運営	基本	2	広域連携、行財政運営	分野	6	行政経営

1. 事業の概要(Plan)

目的	市民が訪れる施設として、安心安全で快適な環境を整備し、職員の執務環境も清潔で機能的施設とする。				
内容	千代川庁舎施設の整備及び維持管理				
種別	自治事務(義務あり)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	
			目標					
成果指標	指標名	説明	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	
			実績					
予算科目	区分	一般会計	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	10 千代川庁舎管理費
事業費(千円)	H29決算額	H30決算額	R1予算額	R2予定額	R3予定額			
総事業費	23,397	27,434	25,289	0	0			
事業経費	16,897	20,934	18,789	0	0			
特定財源	0	0	0	0	0			
従事職員等数								
概算人件費	6,500	6,500	6,500	0	0			

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性		
		対象の適切性		
		主体の妥当性	市が推進すべき	
	有効性	指標の実績		
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	必要な経費である
総合評価	費用対効果			
	手段の妥当性	見直しの余地あり	公共施設マネジメント計画に沿って管理する	
	事業の方針			

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	市民が訪れる施設として、安心安全で快適な環境を整備し、職員の執務環境も清潔で機能的施設とするため、適切な維持管理を行う必要がある。
今後の取組み	千代川庁舎については、公共施設マネジメント実施計画において、新庁舎の建設に合わせて集約化、資産活用の検討を行うこととなっている。計画に沿って、適宜施設管理を行っていく。

令和元(平成31)年度 事務事業評価シート(平成30年度実績)

市民部  
 ぐらしの窓口課  
 窓口係

事務事業名	窓口受付交付業務					
総合計画の体系	目標 6	市民協働、行財政運営	基本 2	広域連携、行財政運営	分野 6	行政経営

1. 事業の概要(Plan)

目的	住民サービスの各種受付や行政証明に関する事務を行う				
内容	住民異動、戸籍、その他福祉手続きの受付等を行うとともに、各種行政証明を的確かつ迅速に交付する				
種別	自治事務(義務あり)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名	説明	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
			目標				
成果指標	指標名	説明	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
			目標				
			実績				
			実績				
予算科目	区分 一般会計	款 2 総務費	項 3 戸籍住民基本台帳費	目 2 戸籍住民基本台帳電算費			
事業費(千円)	H29決算額	H30決算額	R1予算額	R2予定額	R3予定額		
総事業費	26,154	26,154	26,191	0	0		
事業経費	154	154	191	0	0		
特定財源	0	0	0	0	0		
従事職員等数	4.00	4.00	4.00				
概算人件費	26,000	26,000	26,000	0	0		

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性		
		対象の適切性		
		主体の妥当性	市が推進すべき	法令に基づく義務的な事務のため
	有効性	指標の実績		
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	現状が最低の経費である
総合評価	費用対効果			
	手段の妥当性	妥当		法令に基づく義務的な事務のため
	事業の方針			

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	市民からの幅広い要望に対し、限られた人員配置の中で、窓口業務について市民のニーズに応じた対応が必要である。
今後の取組み	窓口サービスにおいて、職員間の情報連携を密にし、親切な対応、的確で迅速な事務処理に努めていく。